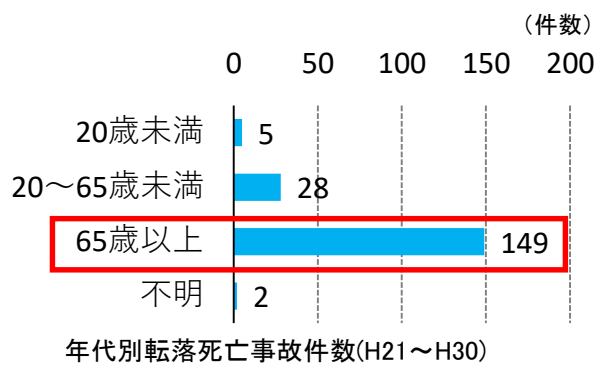
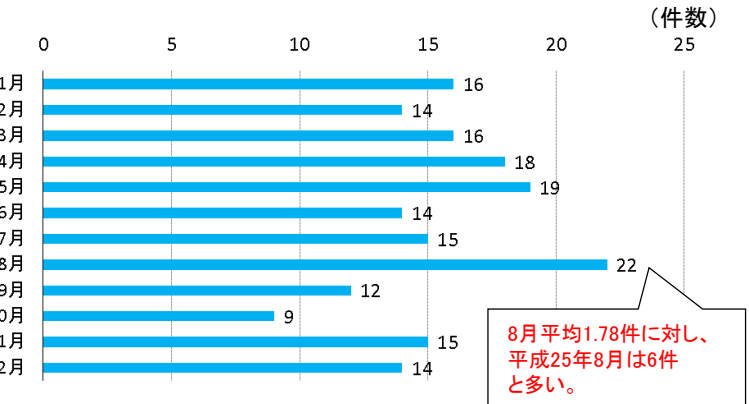
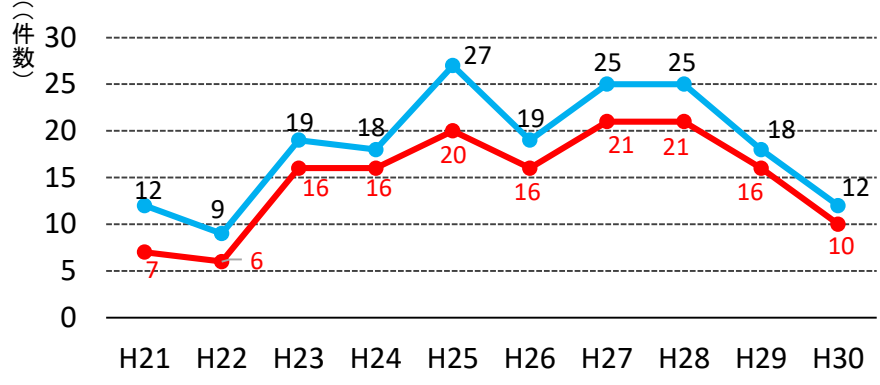
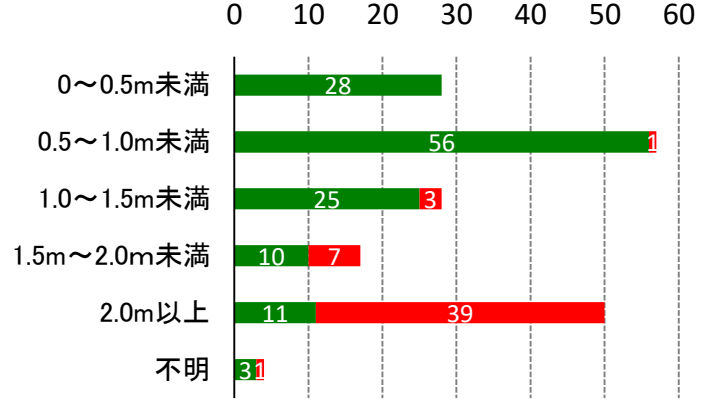
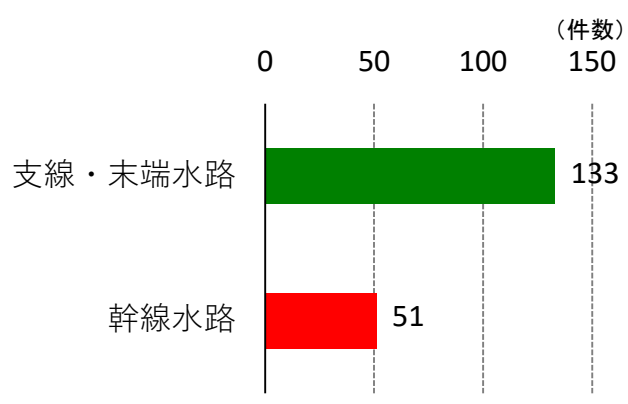


# 過去10年間の転落死亡事故の状況

- 平成21～30年度までの過去10年間に発生した農業用水路における転落死亡事故は、184件。  
このうち、65歳以上の高齢者は約8割を占めている。
- 月別では、かんがい期、非かんがい期とも発生している。
- 死因は、7割以上（過去3年間H28～H30）が水死で、その他は頸椎骨折や窒息死等によるものである。



- 死亡事故が発生した水路の形態別について、幹線・支線水路別で見ると、支線・末端水路での事故が約7割を占める。
- 死亡事故が発生した水路の規模別については、特に水路幅が1m未満の小さな水路での発生が約半分を占めている。



幹線・支線別 転落死亡事故件数(H21～H30)

幹線水路 支線・末端水路  
水路幅レンジ別 転落死亡事故件数(H21～H30)